



## 目次

◆支部の動き.....1	■評議員・理事・監事が改選されました.....4
■支部報 保護・調査記事関連トピックス.....1	■新会長のあいさつ.....5
◆ブロックからのお知らせ.....2	■令和元(2019)年度第1回評議員会(定時)議事録5
■2019年中部ブロック会議第27回岐阜大会 議事録.....2	■令和元(2019)年度第2回評議員会(臨時)議事録7
◆事務局からのお知らせなど.....4	■令和元(2019)年度第2回理事会(臨時)議事録.....8
■個人情報保護にご注意を！～個人情報保護チェックリストをご確認ください～.....4	■連携団体(支部等)・代表者・事務局変更のお知らせ.....9
	■会員数.....9

## ◆支部の動き

## ■支部報 保護・調査記事関連トピックス

本記事は日本野鳥の会へ送付されてきている各地の支部報/会報から抽出して作成し、調査・保護に関心がある野鳥の会の会員へ配信しております。本記事の一部又は全部を不特定多数が見る可能性があるところへ公開される場合は、各支部/各会の了承を事前に得てください。記事は筆者の意向に反しないように、取り扱いをお願いします。

NO. 938

- 2019/7 苫小牧
  - ・オオジシギの個体数調査(ウトナイ湖サンクチュアリ)
- 2019/7-8 栃木県
  - ・野鳥カメラマン座談会
  - ・都市部に生息するオオタカの繁殖について
- 2019/7 神奈川
  - ・国際サシバサミットから
  - ・鳥の名前がついた虫
  - ・住宅地の鉄塔に飛来したミソゴイ
- 2019/4-5 京都
  - ・鳥たちの結婚
  - ・ミソサザイは不吉な鳥
- 2019/7-8 広島県
  - ・フクロウ
  - ・春のシギ・チドリ渡り調査
  - ・部分白化鳥
  - ・標識されたハマシギ

- 2019/7 苫小牧
  - ・オオジシギの個体数調査(ウトナイ湖サンクチュアリ)
 本部の「オオジシギ保護調査プロジェクト」の一環で、5/18、19、勇払原野で「オオジシギ調べ隊」の子どもたちと調査した。1km四方の59メッシュで計63羽

のオオジシギを確認した。2017年より18羽少ない。  
(苫小牧「あおさぎ」NO. 225, P3)

## ●2019/7-8 栃木県

## ・野鳥カメラマン座談会

4/13, 4名の支部会員の野鳥カメラマンで座談会を実施。デジタルカメラではRAW形式が画像の補正、修正加工が密に行える。外付けハードディスクに数百枚入れ、(体が動かなくなり)撮影できなくなった時にでも整理する機会がある。撮影マナーは鳥が逃げないように撮影する方法への関心のみ。

(栃木県「おおるり」Vol. 259, P4~7)

## ・都市部に生息するオオタカの繁殖について

神奈川県内東部のオオタカ生息について研究している。繁殖する場所は高木のサイズが大きく、林冠が閉鎖した樹林を好み、大きな杉に巣を架ける。種内競争が少ない場所では巣立ち数が多い。森林や農地が少ない場所では繁殖が継続できない事が多い。この切り口から見て都市部に進出したオオタカは都市環境に適應しているわけではなく、オオタカの繁殖有無は都市部の生物多様性の指標になるのか、様々な生物を調査している。

(栃木県「おおるり」Vol. 259, P9)

## ●2019/7 神奈川

## ・国際サシバサミットから

神奈川県ではサシバの繁殖地は壊滅している。H25年、環境省は「サシバ保護の進め方」という保護方策ガイドラインを出している。5/25, 26、栃木県市貝町で日本自然保護協会などの実行委員会は第1回国際サシバサミットを開催した。基調講演で樋口広芳氏の「サシバ渡り鳥が結ぶ人と自然」があった。市貝町は国内最大のサシバ繁殖地で「サシバの里協議会」で民間レベルの活動がされている。台湾、フィリピンでも保護活動が進んでいる。次回は来年秋に宮古島で予定。

(神奈川「はばたき」NO. 566, P2~3)

・鳥の名前がついた虫

スズメバチ科の中に〇〇スズメが多数いる。スズメガ科は世界に1200種もあり、これも〇〇スズメとなっている。スズメがつくのは大きさが小さいから、巣の模様がスズメに似ているからとされる。蝶の仲間にはカラスやツバメがつくものもいる。カメムシにはミミズクと呼ばれるものがあり、背中に鳥のミミズクの耳のような突起がある。コオロギには鳴き声からクサヒバリがいる。トンボにはオオルリボシヤンマがいる。

(神奈川「はばたき」NO. 566, P4)

・住宅地の鉄塔に飛来したミソゴイ

5/18~22、夜、横浜市の住宅街の鉄塔でミソゴイが鳴くと支部のFBに投稿があった。20~25回連続して45秒ほど鳴き、30秒ほど空く。ミソゴイは神奈川県では三浦半島、丹沢の沢筋で記録があり、過去2例の繁殖記録がある。

(神奈川「はばたき」NO. 566, P8)

●2019/4-5 京都

・鳥たちの結婚

野鳥の9割は一夫一妻である。哺乳類は雄が授乳に関わらず雌に任せ、鳥類は産卵、給餌を雌雄で分担するためとされる。一夫一妻でも繁殖シーズンのみと、終生番がある。アホウドリは海原と十数年の歳月を超えて関係を保つ。ドイツではワタリガラスを駆除し、独身カラスが増え、絶滅の危機に瀕した。カササギの雄は侵入雌を追い払うふりをするが、陰では浮気をする。一夫多妻、一妻多夫は1回ごとの繁殖では一夫一妻、年間では多夫多妻とも言える。エリマキシギでは雄は正規の襟巻をして縄張りを持つもの、他の雄の縄張りから雌を略奪する白い羽毛を持つ雄、雌の恰好に似せ他の雄の縄張りに入るものがある。オランダではユリカモメの雄同士のペアで、種内で托卵があるため雛が孵った同性婚がある。

(京都「そんぐぼすと」NO. 217, P10~13)

・ミソサザイは不吉な鳥

宇治の地名は第15代応神天皇の皇太子、甕道稚郎子(うじのわきいらつこ)に由来するとされる。本来なら第16代天皇に即位するはずが、異母兄弟の大鷦鷯尊(おおさざきのみこと)が皇位を継承した。後の仁徳天皇になり、皇太子は同天皇に謀殺されたとされた。宇治にとり仁徳天皇は政敵とされた。大鷦鷯尊のサザキはミソサザイを指し、仁徳天皇=ミソサザイとなり宇治ではミソサザイは不吉な鳥とされている。

(京都「そんぐぼすと」NO. 217, P23)

●2019/7-8 広島県

・フクロウ

5月の中国四国ブロック交流会時の講演会より。フクロウの耳は意外にも左右対称である(フクロウの仲間には非対称が多いが、結構対称もいる)。フクロウは繁殖期に生殖器は100倍大きくなる(自然史家・川口敏、バーダー誌で「鳥の生態学ノート」を連載、解剖実践者)

(広島県「森の新聞」NO. 223, P2)

・春のシギ・チドリ渡り調査

4/29、広島県内10箇所を調査した。総計848羽で内訳はハマシギ366、チュウシャクシギ185、ケリ83、イソシギ45、キアシシギ39、タンシギ35、シロチドリ26、ソリハシシギ17、コチドリ14、ダイゼン10等。

(広島県「森の新聞」NO. 223, P4)

・部分白化鳥

2019/2、福山市でハクセキレイ。2016/2、福山市でセグロセキレイ。2016/5、広島市でハシボソガラスの部分白化個体。2019/3、竹原市でメジロ。2014/8、竹原市でミヤマホオジロ。2014/8、竹原市でバフ変ツバメ。2016/9、竹原市でバフ変ヒヨドリ。部分白化はメラニン色素が部分的に減少。バフ変は全体的にメラニンが少なく、淡色化する。アルビノはメラニン遺伝子欠損、毛細血管が透けて眼が赤い。

(広島県「森の新聞」NO. 223, P8)

・標識されたハマシギ

2/8、松永湾の320羽のハマシギの中に2017/7、ロシアのチュクチ半島北部で標識されたハマシギ1羽がいた。2期連続記録。1/30にはジオロケータ付きハマシギ(2015/6 アラスカで標識)が3期連続で記録されている。

(広島県「森の新聞」NO. 223, P9)

(自然保護室・野鳥の会・神奈川/森要)

---

## ◆ブロックからのお知らせ

---

### ■2019年中部ブロック会議第27回岐阜大会 議事録

【日時】：2019年6月8日(土)~9日(日)

【場所】：飛岳銀嶺荘(岐阜県高山市)

【担当支部】：日本野鳥の会岐阜

【参加者】：14支部(富士山麓支部2名、石川2名、遠江1名、甲府支部2名、三重3名、沼津支部1名、長野支部2名、富山3名、福井県支部4名、南富士支部2名、新潟県3名、愛知県支部4名、東富士1名、諏訪支部2名、岐阜13名)、財団4名、合計49名

【スケジュール】

(1) 協議事項

●各連携団体が保管する鳥情報のデータ化(愛知県支部)

●ガンカモ調査の育成システムの構築(愛知県支部)

(2) 報告事項

●若年層への普及活動の紹介(学校等への観察会の状況)(遠江)

●モニタリング調査活動の現状と冬鳥(ツグミ)の調査結果の考察(遠江)

●カンムリカイツブリ調査報告(新潟県)

●ジョウビタキの現状(岐阜)

●イソヒヨドリ発表 イソヒヨドリプロジェクトチーム(愛知県支部)

## ●ミヤコドリ調査について（三重）

### （3）財団本部より

- 2019年度リーダーズフォーラムのお知らせ
- リスクマネジメントについて
- 入会キャンペーンについて
- 全国鳥類繁殖分布調査中間報告

### 【議事録】

#### （1）協議事項

- 各連携団体が保管する鳥情報のデータ化/ガンカモ調査の育成システムの構築（愛知県支部）

連携団体（以下支部）の野鳥情報をデータベース化することと、VRを利用したガンカモ調査育成システムの構築を、財団本部に要望することが提案された。中部ブロックで実施したイソヒヨドリの調査を通して、野鳥情報をデータ化、同じ様式での統一の必要性を感じ、データを各支部で自由に利用できるようになることが理想であると述べられた。また、調査活動の人材不足解消のため、VRを使ってガンカモ調査を体験し、調査トレーニングシステムを構築してはどうかと意見があった。この提案に対し、支部内でまとめてはどうか、金銭的に難しいのではないかと、調査データの公開不可の支部がある等の意見があった。まずは財団本部へ要望してから、調整・相談していくと提案があり、採決された。

#### （2）報告事項

- 若年層への普及活動の紹介（学校等への観察会の状況）（遠江）

減少傾向にある会員を持続的に増やしていくには、若年層へのアプローチが必要であると述べられ、その事例が報告された。サントリー世界愛鳥基金より助成を受け、遠江の野鳥のガイドブックを作成、小学校に無料配布し希望のあった小学校には観察会も実施。野鳥に興味をもってもらえたと感じたが、今後は継続性が課題であると述べられた。

- モニタリング調査活動の現状と冬鳥（ツグミ）の調査結果の考察（遠江）

2019年1～2月は冬鳥が少なく、2015年以降のデータを見るとツグミが年々減っていることがわかったと報告された。モニタリングの場所や時間、人数は定量ではないが、2018年1～2月と比べると、ツグミは半分以下になっており、来年以降も注視していきたいと述べられた。

- カンムリカイツブリ調査報告（新潟県）

新潟県内でのカンムリカイツブリの繁殖が増えていることから、全国的に増えているのではないかと考察し、中部ブロック内の情報のとりまとめについて報告された。新潟県内では、初確認された年より、繁殖場所・繁殖個体数ともに増加している。繁殖が確認されたのは、日本海側の4県（富山、石川、福井、新潟）で、越夏が確認されたのは太平洋側の3県（静岡、岐阜、愛知）であった。今後も繁殖記録が増える可能性があるため、引き続き協力しながら調査をすすめたいと述べられた。

- ジョウビタキの現状（岐阜）

岐阜県内では2015年にジョウビタキの繁殖を確認して以降、急激に繁殖数やエリアが拡大していることが報告された。市街地の住宅地で繁殖し、いずれも人工物に営巣していることがわかっている。昨年よりカラーリングによる標識調査も行っており、1シーズンに3回の繁殖をしたペア、翌年同ペアで繁殖したこと等がわかっている。

- イソヒヨドリ発表 イソヒヨドリプロジェクトチーム（愛知県支部）

昨年の発表に新しいデータを追加したものが発表された。河川に沿って分布が内陸へ広がっていることがわかっているが、年を追って内陸へ進出しているという結果は顕著ではなかった。海岸からの最長距離、最も高い標高の観察例は、年々大きくなっているが、内陸進出との関係はハッキリしていないと述べられた。この調査を通して、ブロック内の全支部で協力してデータをまとめたことが成果であり、今後は3年後くらいに実施できればと述べられた。

- ミヤコドリ調査について（三重）

ミヤコドリの飛来調査の結果が報告された。三重県の海岸は砂地が多く、群れて飛来するミヤコドリが確認されている。ブロック内調査では、石川、福井、愛知でもごく少数確認されているが、三重県の特に津市近辺での観察が多かったと述べられた。

### （3）財団本部より

- 2019年度リーダーズフォーラムのお知らせ

2020年2月8日（土）・9日（日）に福井県で「リーダーズフォーラム」が開催されることが共有され、参加が呼びかけられた。

- リスクマネジメントについて

初心者向けバードウォッチングの普及とともに、野外活動に不慣れな方が探鳥会に参加する機会が増え、探鳥会のリスクマネジメントに一層気を付ける必要があること、また、リスクマネジメントに関してよく聞かれる誤解が紹介され、財団から講師を派遣するので、研修会を企画してほしい旨が述べられた。

- 入会キャンペーンについて

新規入会の方にカレンダーをプレゼントしているキャンペーンについて共有された。キャンペーンを実施した昨年4～12月の入会が増加したことが報告され、入会案内の際に活用してほしいと呼びかけられた。

- 全国鳥類繁殖分布調査中間報告

現在実施されている、全国鳥類繁殖分布調査の途中経過について報告された。現在約70%のポイントで調査が終了している。草原性の野鳥、高山の野鳥、小型の魚を獲物にする野鳥などで減少が確認され、反対に森林性の野鳥、夏鳥、大型の魚を獲物にする野鳥などは増加傾向にあること、また、外来種の急速な分布拡大も確認されていること等が報告された。

次回中部ブロック会議

担当：日本野鳥の会諏訪支部 時期：6月中旬で検討中

(普及室／嶋村早樹)

## ◆事務局からのお知らせなど

### ■普及室より

### ■個人情報保護にご注意を！～個人情報保護チェックリストをご確認ください～

6月27日にある支部で個人情報漏えい事故が発生しました。支部のホームページ上に掲載されたPDFファイルに、探鳥会申し込み者69名の名簿が、約6ヵ月間にわたり閲覧可能な形で掲載されていたことが発覚しました。現在、この件については、財団で契約している個人情報保護コンサルタントにアドバイスを受けながら対応中です。

各支部におかれましても、日々の個人情報の取り扱い方法についてもう一度チェックをお願いいたします。財団が作成した※「支部個人情報保護チェックリスト」をご確認くださいませようをお願いいたします。

※「支部個人情報保護チェックリスト」をお持ちでない方は、以下の連絡先にお問い合わせください。なお、「支部個人情報保護チェックリスト」は、支部の内部でのご活用にとどめ、外部への転送はご遠慮ください。

#### 【お問い合わせ先】

(公財)日本野鳥の会 普及室 普及教育グループ  
メール：tancho-staff@wbsj.org  
TEL：03-5436-2622 FAX：03-5436-2635

(普及室／箱田敦只)

### ■総務室より

### ■評議員・理事・監事が改選されました

6月19日に開催された評議員会において、新しい評議員・理事・監事が決まりました。

#### 【評議員】任期4年

評議員長 上田 恵介 (立教大学名誉教授)

評議員 岩切 久 (日本野鳥の会宮崎県支部支部長)

// 上原 治也 (三菱UFJ信託銀行株式会社特別顧問)

// 河野 博子 (ジャーナリスト)

// 小林 みどり (日本野鳥の会埼玉副代表)

// 黒澤 信道 (日本野鳥の会釧路支部支部長)

// 松平 宗紀 (一般社団法人霞会館理事長)

#### 【理事】任期2年

◎理事長 遠藤 孝一 (日本野鳥の会栃木県支部副支部長)

◎副理事長 狩野 清貴 (元 NPO 自然観察指導員京都連絡会代表)

常務理事 上原 健 (トコロジストよこはま・あさひ代表)

理事 安西 英明 (公益財団法人日本野鳥の会主席研究員)

// 笠原 逸子 (日本野鳥の会神奈川支部副支部長)

// 松田 道生 (フリーランス(執筆業等))

// 見田 元 (アドバンスアイ株式会社顧問)

※ ◎：代表理事

#### 【監事】任期4年

監事 曾我 千文 (東京都職員)

監事 新實 豊 (日本野鳥の会愛知県支部支部長)

#### 【名誉会長、会長、副会長】

名誉会長 柳生博 (前評議員長)

会長 上田恵介 (評議員長)

副会長 遠藤孝一 (理事長)

// 佐藤仁志 (前理事長)



▲新評議員(左から、松平宗紀、上原治也、小林みどり、河野博子、上田恵介、黒澤信道、岩切久)



▲新役員(左から、曾我千文、見田元、新實豊、上原健、遠藤孝一、狩野清貴(前列)、安西英明(後列)、笠原逸子、松田道生)

(総務室/五十嵐真)

## ■新会長のあいさつ

●会長 上田恵介



皆さま、こんにちは。6月から会長に就任しました上田恵介です。柳生博前会長の跡を継いで会長を務めます。私は小学生の時に入会したので、会員歴だけは古いのですが、会長の仕事は新米ですのでよろしくお引立てください。

現在、日本野鳥の会の会員数は最盛期よりも少し減ってはいますが、名実ともに日本最大の自然保護団体であることに変わりはありません。それは北海道から沖縄まで、日本全国どこに行っても日本野鳥の会の支部・連携団体があり、会員がいるということに尽きます。全国の支部・連携団体の皆さんが地域に根を張った、地道な活動を続けて来られたからこそ、日本野鳥の会の今があり、日本の自然が守られているのだと、とても誇りに思っています。

私たちの活動はバードウォッチングという健康な趣味を通じて、未来の子どもたちに豊かな自然を残していくための活動です。全国の支部・連携団体の皆さん、鳥の好きな人を増やし、私たちの活動を世の中に広めていきましょう。

(総務室/林山雅子)

## ■令和元(2019)年度第1回評議員会(定時)議事録

1 開催日時：令和元(2019)年6月19日(水)  
午後1時30分～午後3時40分

2 開催場所：ホテルマイステイズ五反田駅前  
2階「ルーチェ」  
東京都品川区西五反田2-6-8

3 出席者 評議員総数 8名  
(敬称略、五十音順)  
出席評議員 6名

石井 隆、上田 恵介、上原 治也、  
佐藤 仁志、原 剛、柳生 博

出席理事

上原 健、遠藤 孝一、狩野 清貴

出席監事

曾我 千文

事務局

富岡 辰先(事務局長)、  
五十嵐 真(総務室長)、  
林山 雅子(総務室総務グループチーフ)

4 議長 柳生 博

5 議決事項

第1号議案 評議員選任の件  
第2号議案 理事選任の件  
第3号議案 監事選任の件  
第4号議案 名誉会長選任の件  
第5号議案 会長選任の件

6 議事の経過の要領及びその結果

上原健常務理事が開会を宣言、その後、柳生博評議員長から挨拶があった。引き続き、上原常務理事より、本評議員会は定款第22条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨、報告があった。

議事録署名名人については、定款第24条の規定により、出席した評議員長及びその会議において選任された1人となっており、評議員長の他、上田恵介評議員が選任され、本人も承諾し、直ちに審議に入った。

7 議決事項の審議

(1) 第1号議案 評議員選任の件

議長より、佐藤仁志評議員より評議員辞任届が提出されており、評議員全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了及び辞任し退任となるため、改選の必要がある旨が述べられ、その選任方法について諮ったところ、出席評議員より議長提案を求める発言があり、これが承認された。

議長が、下記の者を提案し、それぞれ賛否を諮ったところ、出席評議員の過半数が異議なくこれに賛成したので、これが承認された。また、被選任者は全員就任を承諾した。

なお、石井隆評議員より、当会会員及び連携団体代表経験者からなる評議員候補者の選任について、次期評議員改選時までに選任方法の変更を検討してほしい旨の意見が出された。

評議員 上田 恵介 (重任)  
評議員 上原 治也 (重任)  
評議員 岩切 久 (新任)  
評議員 黒澤 信道 (新任)  
評議員 河野 博子 (新任)  
評議員 小林 みどり (新任)  
評議員 松平 宗紀 (新任)

評議員 佐藤 仁志 (辞任)  
評議員 石井 隆 (退任)  
評議員 石部 久 (退任)  
評議員 原 剛 (退任)  
評議員 丸谷 聡子 (退任)  
評議員 柳生 博 (退任)

(2) 第2号議案 理事選任の件

議長より、理事全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了し退任するため、改選の必要がある旨が述べられ、その選任方法について諮ったところ、出席評議員より議長提案を求める発言があり、全員がこれを承認した。

議長が、下記の者を提案し、それぞれ賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。また、被選任者は全員就任を承諾した。

理事 安西 英明 (重任)  
理事 上原 健 (重任)  
理事 遠藤 孝一 (重任)  
理事 笠原 逸子 (重任)  
理事 狩野 清貴 (重任)  
理事 松田 道生 (重任)  
理事 見田 元 (重任)

理事 吉田 新 (退任)

(3) 第3号議案 監事選任の件

議長より、監事全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了し退任するため、改選の必要がある旨が述べられ、その選任方法について諮ったところ、出席評議員より議長提案を求める発言があり、全員がこれを承認した。

議長が、下記の者を提案し、それぞれ賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。また、被選任者は全員就任を承諾した。

監事 曾我 千文 (重任)  
監事 新實 豊 (新任)

監事 川村 研治 (退任)

(4) 第4号議案 名誉会長選任の件

議長より、定款第35条第6項の定めにより、名誉会長を選任したい旨が述べられ、出席評議員一同より下記の者を推薦する発言があり、その賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。また、被選任者は就任を承諾した。

名誉会長 柳生 博

(5) 第5号議案 会長選任の件

議長より、定款第35条第6項の定めにより、下記の者を会長に推薦する発言があり、その賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。また、被選任者も就任を承諾した。

8 報告事項

(1) 平成30年度事業報告及び決算の件

遠藤孝一理事長より、平成30年度事業報告について、資料に基づき説明があり、また、平成30年度決算について、一般正味財産は約35,719千円の減少、指定正味財産は約3,080千円の減少であること、公益事業会計の一般正味財産が減額となり、収支相償基準は達成したこと、収益事業等会計から公益事業会計への他会計振替額は、2,183千円となったことが資料に基づき説明がされた。

石井評議員より、特に実績として評価できることは何かとの質問がされ、遠藤理事長より、今年度より広報室が設置され当会の活動を広く社会にアピールできる仕組みが整ったことであると回答がされた。また、広報活動の充実は当会の支援者拡大につながり、自然保護活動のさらなる充実につながると追加説明がされた。

石井評議員より、野鳥情報ネットワーク事業の進捗について質問がされ、遠藤理事長より、連携団体及び個人が持っている野鳥情報のデータベース化は保護活動を進める上でも重要であるが、マンパワーの問題により専任の担当者を置ける状態ではなく、進捗は遅いが、引き続き取り組んでいくと回答がされた。

(2) 平成31年度事業計画及び予算の件

遠藤理事長より、平成31年度事業計画の概要について、資料に基づき説明があった。また、平成31年度予算について、一般正味財産の部の経常増減額は165,157千円減、全体では正味財産期末残高が2,128,899千円と期首に比べ186,018千円減少する予算であること、また、前年度予算と比較して金額に大きな増減があった科目についてその理由等が資料に基づき説明された。

石井評議員より、絶滅のおそれのある種の保護の種の選定方法について、選定の理由説明や選定に際しては連携団体と連携してほしい旨の意見が出された。遠藤理事長より、オオジシギは寄付者の意向(ウトナイ湖サンクチュアリや北海道の自然や野鳥の保護に役立ててほしい)に生息状況、保護の必要性を加味して選定し、調査には北海道の連携団体と一緒に取り組んでいると回答がされた。チュウヒ及びシマアオジは、種の保存法に追加され、保護対象として緊急性を要していたため選定したと回答がされた。また、連携団体との連携は引き続き深めていきたいと追加説明がされた。

上原治也評議員より、経常費用の旅費交通費が前年度より9,879千円減となっているが、保護活動が減少傾向にあるのかとの質問がされ、五十嵐真総務室長より、旅費交通費については、年度よっての変化が激しく、保護活動が減少しているわけではないと回答がされた。

佐藤仁志評議員より、当会の働き方改革関連法への対応について質問がされ、遠藤理事長より、4月より出退勤管理の仕組みを整え、長時間労働については極力抑えるよう努力していると説明がされた。上田評議員より、業務によってはフレック

ス制度の導入を検討してはどうかとの意見が出され、遠藤理事長より、まずは定時勤務の体制を整えたいと回答がされた。

佐藤評議員より、ツバメの普及事業の野鳥の営巣環境を保全する企業・団体の表彰・広報の内容について質問がされ、遠藤理事長より、本年度は試行であり、まずは連携団体から推薦をいただく予定であると回答がされた。

(3) 平成30年度第3・4回及び平成31年度第1回理事会の結果の件

遠藤理事長より、平成30年度第3・4回及び平成31年度第1回理事会の結果について、資料に基づき報告があった。

上田評議員より、連携団体としての認定が取り消された函館支部の会員への対応について質問がされ、遠藤理事長より、各会員には函館支部解散後の動向等についてお聞きするなど丁寧に対応していると回答がされた。また、上原常務理事が中心に、各連携団体の運営状況の情報収集等を進めていると説明がされた。

議長は以上をもって全部の議題を終了した旨を述べ、午後3時40分閉会を宣言し解散した。

以上の議事を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

令和元(2019)年6月24日

公益財団法人日本野鳥の会定時評議員会

議長 柳生 博

議事録署名人 上田 恵介

(総務室／林山雅子)

■令和元(2019)年度第2回評議員会(臨時)議事録

- 1 開催日時：令和元年6月19日(月)  
午後3時50分～午後4時10分
- 2 開催場所：ホテルマイステイズ五反田駅前  
2階「ルーチェ」  
東京都品川区西五反田2-6-8
- 3 出席者 評議員総数 7名  
出席評議員 7名  
岩切 久、上田 恵介、上原 治也、黒澤 信道、  
河野 博子、小林 みどり、松平 宗紀

出席理事

安西 英明、上原 健、遠藤 孝一、笠原 逸子、  
狩野 清貴、松田 道生、見田 元

出席監事

曾我 千文、新實 豊

事務局

富岡 辰先(事務局長)、五十嵐 真(総務室長)、  
林山 雅子(総務室総務グループチーフ)

- 4 議長  
評議員 黒澤 信道(第1号議案)  
評議員長 上田 恵介(第2号議案以降)
- 5 議決事項  
第1号議案 評議員長選任の件  
第2号議案 評議員会議長代行順序決定の件  
第3号議案 副会長選任の件

6 議事の経過の要領及びその結果

上原健理事が開会を宣言、その後、本評議員会は定款第22条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨、報告があった。

なお、議事録署名人については、定款第24条の規定により、出席した評議員長及びその会議において選任された1人となっており、事務局一任とする提案がなされ、上原理事が黒澤信道評議員を指名した。また、評議員長選任において、黒澤信道評議員が評議員長に選任された場合、再度、議事録署名人の選任を行う旨を述べ、全員が異議なくこれを承認、本人も承諾し、直ちに議案の審議に入った。

(1) 第1号議案 評議員長選任の件

評議員長が選任されるまで、黒澤信道評議員が議長となることを全員で確認し、定款第14条第3項の定めにより評議員長を選任したい旨を述べ、協議した結果、全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

評議員長 上田 恵介

(2) 第2号議案 評議員会議長代行順序決定の件  
評議員長に選任された上田評議員が引続き議長となり、評議員会規程第9条により、黒澤評議員、小林みどり評議員の順で、議長代行を選任したい旨を述べ、協議した結果、全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

第一議長代行 黒澤 信道  
第二議長代行 小林 みどり

(3) 第3号議案 副会長選任の件

議長より、定款第35条第6項の定めにより、遠藤孝一理事を副会長に選任したい旨を述べ、協議した結果、全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

副会長 遠藤 孝一

議長は以上をもって全部の議題を終了した旨を述べ、午後4時10分閉会を宣言し解散した。

以上の議事を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

令和元(2019)年6月24日

公益財団法人日本野鳥の会臨時評議員会

議長 上田 恵介

議事録署名人 黒澤 信道

(総務室/林山雅子)

### ■令和元(2019)年度第2回理事会(臨時)議事録

- 1 開催日時：令和元(2019)年6月19日(水)  
午後4時20分～午後4時35分  
開催場所：ホテルマイステイズ五反田駅前  
2階「ルーチェ」  
東京都品川区西五反田2-6-8
- 2 出席者  
理事現在数 7名  
出席理事 7名  
安西 英明  
上原 健  
遠藤 孝一  
笠原 逸子  
狩野 清貴  
松田 道生  
見田 元  
出席監事  
曾我 千文  
新實 豊  
事務局  
富岡 辰先(事務局長)  
五十嵐 真(総務室長)  
林山 雅子(総務室総務グループチーフ)
- 3 議長  
理事 上原 健(第1号議案)  
理事長 遠藤 孝一(第2号議案以降)
- 4 議決事項  
第1号議案 理事長選任の件  
第2号議案 副理事長選任の件  
第3号議案 常務理事選任の件  
第4号議案 理事会招集権者順序決定の件  
第5号議案 理事会議長代行順序決定の件  
第6号議案 役員改選に伴う常勤役員の年間報酬額決定の件
- 5 議事の経過の要領及びその結果  
上原健理事が開会を宣言し、理事長が選任され

るまで議長として議事を進行することの承認を求め、出席理事全員がこれを了承した。続いて本理事会は定款第42条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨、報告があった。

なお、議事録署名人については、出席役員全員が署名人となることを確認した後、次の議案の審議に入った。

#### (1) 第1号議案 理事長選任の件

議長より、定款第27条第2項に定める理事長の選任について出席理事の意見を求めたところ、理事長に遠藤孝一理事を選任したい旨の提案があり、その賛否を諮ったところ、全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

理事長 遠藤 孝一

ここで、定款第41条に基づき議長を上原理事から遠藤理事長に交代した。

#### (2) 第2号議案 副理事長選任の件

議長より、定款第27条第3項の定めにより、副理事長の選任について出席理事の意見を求めたところ、副理事長に狩野清貴理事を選任したい旨の意見があり、その賛否を諮ったところ全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

副理事長 狩野 清貴

#### (3) 第3号議案 常務理事選任の件

議長より、定款第27条第3項の定めにより、常務理事の選任について上原理事を推薦したい旨の提案があり、その賛否を諮ったところ全員が異議なく次の通り選任し、被選任者も就任を承諾した。

常務理事 上原 健

#### (4) 第4号議案 理事会招集権者順序決定の件

議長より、定款40条第2項に基づき、理事長に事故があった場合の理事会招集権者順序について、狩野副理事長、上原常務理事の順としたい旨の提案があり、この賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

#### (5) 第5号議案 理事会議長代行順序決定の件

議長より、理事会規程第9条により、理事会議長代行順序について、狩野副理事長、上原常務理事の順としたい旨の提案があり、この賛否を諮ったところ、全員が異議なくこれを承認した。

#### (6) 第6号議案 役員改選に伴う常勤役員の年間報酬額決定の件

五十嵐真総務室長より、定款第33条及び「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」第3条に基づき、役員改選に伴う常勤役員の年間報酬額について、資料に基づき説明があった。審議を経て、議長がこの賛否を諮ったところ、

全員が異議なくこれを承認した。

議長は以上をもって全部の議題を終了した旨を述べ、午後4時35分閉会を宣言し解散した。

上記の議事を明らかにするために議事録を作成し、出席役員全員の名において記名、押印する。

令和元(2019)年6月24日

#### 公益財団法人日本野鳥の会臨時理事会

議長 代表理事 遠藤 孝一

代表理事 狩野 清貴

理事 安西 英明

理事 上原 健

理事 笠原 逸子

理事 松田 道生

理事 見田 元

監事 曾我 千文

監事 新實 豊

(総務室/林山雅子)

#### ■連携団体(支部等)・代表者・事務局変更のお知らせ

名称変更などがあった支部についてお知らせいたします。(敬称略)

##### ●日本野鳥の会福井県

【事務局長の変更】

新)： 松村 俊幸

旧)： 門前 孝也

##### ●日本野鳥の会長野支部

【支部長交代】

新)： 藤田 伸二

旧)： 小林 富夫

##### ●日本野鳥の会滋賀

【代表交代】

新)： 村田 章

旧)： 河村 則英

##### ●日本野鳥の会ひょうご

【代表交代】

新)： 長江 卓哉

旧)： 鈴木 博

##### ●日本野鳥の会埼玉

【代表交代】

新)： 山部 直喜

旧)： 海老原 美夫

変更年月日：2019年6月29日

(総務室/鈴木美智子)

#### ■会員室より

#### ■会員数

7月1日の会員数は34,465人で、先月と比べ34人減少しました。6月の入会・退会者数の表をみると、入会者数は退会者数より49人少なくなっています。

会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

6月の入会者数は114人で、前年同月の入会者数165人と比べ51人減少しました。また、6月の退会者数は163人で、前年同月の退会者数146人と比べ17人増加しました。

表1. 6月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	4 人	7 人
総合会員(おおぞら会員)	21 人	52 人
本部型会員(青い鳥会員)	22 人	31 人
支部型会員(赤い鳥会員)	51 人	37 人
家族会員	16 人	36 人
合計	114 人	163 人
年度累計	514 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

#### ■都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数(7月1日現在)

都道府県	会員数	対前月差
北海道	1,665 人	0 人
青森県	245 人	0 人
岩手県	367 人	0 人
宮城県	480 人	-2 人
秋田県	247 人	1 人
山形県	218 人	0 人
福島県	600 人	-3 人
茨城県	892 人	2 人

栃木県	671 人	-2 人
群馬県	609 人	-2 人
埼玉県	2,108 人	3 人
千葉県	1,570 人	-4 人
東京都	4,765 人	-11 人
神奈川県	3,294 人	-2 人
新潟県	366 人	0 人
富山県	199 人	-1 人
石川県	274 人	2 人
福井県	220 人	0 人
山梨県	262 人	-2 人
長野県	851 人	4 人
岐阜県	461 人	-3 人
静岡県	1,301 人	1 人
愛知県	1,494 人	-9 人
三重県	429 人	1 人
滋賀県	292 人	1 人
京都府	814 人	-1 人
大阪府	1,988 人	13 人
兵庫県	1,278 人	-5 人
奈良県	503 人	0 人
和歌山県	192 人	-1 人
鳥取県	186 人	1 人
島根県	172 人	1 人
岡山県	543 人	1 人
広島県	560 人	-1 人
山口県	364 人	2 人
徳島県	310 人	2 人
香川県	185 人	-2 人
愛媛県	357 人	-1 人
高知県	127 人	-1 人
福岡県	1,282 人	-1 人
佐賀県	194 人	-1 人
長崎県	210 人	0 人
熊本県	395 人	0 人
大分県	220 人	-5 人
宮崎県	249 人	-1 人
鹿児島県	311 人	-1 人
沖縄県	106 人	2 人
海外	11 人	0 人
不明	28 人	-9 人
全国	34,465 人	-34 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（7月1日現在）

支部	会員数	対前月差
オホーツク支部	250 人	2 人
根室支部	81 人	0 人
釧路支部	155 人	0 人
十勝支部	174 人	0 人

旭川支部	82 人	-3 人
滝川支部	46 人	0 人
道北支部	27 人	0 人
江別支部	19 人	0 人
札幌支部	302 人	-1 人
小樽支部	64 人	0 人
苫小牧支部	160 人	1 人
室蘭支部	147 人	-2 人
道南檜山	60 人	0 人
青森県支部	130 人	-1 人
弘前支部	109 人	0 人
秋田県支部	235 人	0 人
山形県支部	202 人	0 人
宮古支部	87 人	0 人
もりおか	159 人	-2 人
北上支部	102 人	1 人
宮城県支部	451 人	0 人
ふくしま	155 人	0 人
郡山支部	156 人	-2 人
白河支部	40 人	0 人
会津支部	54 人	-2 人
奥会津連合	7 人	0 人
いわき支部	110 人	0 人
福島県相双支部	17 人	0 人
南相馬	14 人	0 人
茨城県	790 人	0 人
栃木県支部	658 人	-1 人
群馬	522 人	2 人
吾妻	41 人	-1 人
埼玉	1,594 人	8 人
千葉県	992 人	-5 人
東京	2,712 人	-14 人
奥多摩支部	808 人	-1 人
神奈川支部	2,254 人	-10 人
新潟県	272 人	0 人
佐渡支部	34 人	0 人
富山	181 人	-1 人
石川	256 人	1 人
福井県	213 人	1 人
長野支部	448 人	2 人
軽井沢支部	166 人	0 人
諏訪支部	230 人	3 人
木曾支部	23 人	0 人
伊那谷支部	78 人	-1 人
甲府支部	182 人	-1 人
富士山麓支部	58 人	0 人
東富士	58 人	0 人
沼津支部	156 人	-1 人
南富士支部	249 人	0 人
南伊豆	38 人	1 人

静岡支部	336	0 人
遠江	395	0 人
愛知県支部	1,108	-4 人
岐阜	452	-4 人
三重	360	0 人
奈良支部	453	-1 人
和歌山県支部	195	-2 人
滋賀	294	-4 人
京都支部	770	0 人
大阪支部	1,869	8 人
ひょうご	974	3 人
鳥取県支部	205	3 人
島根県支部	162	3 人
岡山県支部	511	1 人
広島県支部	480	-1 人
山口県支部	332	3 人
香川県支部	145	-2 人
徳島県支部	327	2 人
高知支部	113	-1 人
愛媛	329	-1 人
北九州支部	294	0 人
福岡支部	544	-4 人
筑豊支部	246	2 人
筑後支部	158	1 人
佐賀県支部	233	0 人
長崎県支部	195	1 人
熊本県支部	388	-4 人
大分県支部	213	-4 人
宮崎県支部	245	-1 人
鹿児島	285	0 人
やんばる支部	69	0 人
石垣島支部	16	0 人
西表支部	44	1 人
	29,348 人	-32 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。

これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（会員室／佐藤ゆき乃）

#### ★支部ネット担当より

皆さまいかがお過ごしでしょうか。いつも支部ネット通信をご愛読いただき、ありがとうございます。

今月号では、評議員・理事・監事の改選、新会長のあいさつなどが掲載されています。これから暑くなってきましたが、皆さま、お体をくれぐれもご自愛ください。

■支部ネット通信は支部の代表の方に電子メールでも配信をしています。電子メールでの配信を希望される支部の代表の方は下記メールアドレスまでお気軽にお申し込みください。

日本野鳥の会

## 支部ネット通信

第184号

#### ◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2019年7月26日

#### ◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/浦野菜穂子

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org